

報告書抄録

ふりがな	べつみょうほうしほいせき-だいにじちようさ・かみとくおおみちかみいせき・こくぶひさずみいせき
書名	別名ホウシボ遺跡-第2次調査-・上徳大道上遺跡・国分久積遺跡
副書名	-平成29年度 個人住宅建設工事等に伴う発掘調査報告書-
巻次	
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第143集
編集者名	丸毛 のぞみ
編集機関	今治市教育委員会
所在地	〒794 - 0027 愛媛県今治市南大門町二丁目5番地1 電話 0898 - 32 - 5200 (代)
発行年月日	西暦 2019年3月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
べつみょうほうしほいせき 別名ホウシボ遺跡 第2次調査	いまばりしべつみょう 今治市別名569番3	38202		34° 04' 61"	132° 97' 36"	20171127) 20171201	2.5㎡	個人住宅建設 (擁壁)
かみとくおおみちかみいせき 上徳大道上遺跡	いまばりしかみとく 今治市上徳358番6	38202		34° 03' 26"	133° 01' 03"	20171220) 20171222	10.0㎡	個人住宅建設 (浄化槽及び 擁壁)
こくぶひさずみいせき 国分久積遺跡	いまばりしこくぶ 今治市国分7丁目甲144番	38202		34° 02' 63"	133° 01' 89"	20180219) 20180223	7.0㎡	個人住宅建設 (浄化槽)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
別名ホウシボ遺跡 第2次調査	集落跡	弥生時代	土坑、ピット	弥生土器 石器	
上徳大道上遺跡	集落跡				
国分久積遺跡	集落跡	弥生時代～古墳時代 古代	ピット	弥生土器 須恵器 土師器 赤色塗彩土器 瓦 鉄器	

要 約	<p>別名ホウシボ遺跡第2次調査では、2層の遺物包含層と2面の遺構面を検出した。検出した遺構は合わせて土坑1基、ピット11基で、時期は遺物包含層も含めいずれも第1次調査と同様の弥生時代前期後葉から中期後葉で、検出した遺構は集落の一部であると考えられる。また、調査面積に対し遺構密度が高く、調査地を含め周辺が遺跡の中でも遺構密集地と想定される。</p> <p>上徳大道上遺跡は試掘調査において弥生時代を中心とする遺跡として判断されたが、今回の調査では遺構および遺物の検出は認められず、土層堆積は周囲の河川影響を受けたものであった。このことから遺跡の広がりには当調査区より北側にあると考えられる。</p> <p>国分久積遺跡では古代の遺物包含層2層と遺構面2面、弥生時代後期後半から古墳時代前期の遺物包含層1層と遺構面1面を検出した。検出された遺構は少ないものの、両時期とも周辺の遺跡環境などと合わせると、さらに遺跡が広がっている可能性は高い。</p>
-----	--